

高松学習館運営協議会（令和2年11月）会議録概要

開催日時 令和2年11月16日（月曜日）午後7時00分～午後8時30分

開催場所 高松学習館 第一教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学常勤教授）

小林理哉（社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

有本悟（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

小倉亮一（立川市市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 3名

[事務局] 石井孝（高松学習館係長）、富田瑞代（高松学習館市民嘱託）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

・先日ファミリーコンサートが開催された。委員さんのご協力ありがとうございました。出演者の方々にも大変喜んでいただきました。委員さんお一人お一人が特技、技能を持っていて動いている学習館だと感じていた。今回は学習館窓口のシルバ一人材センターのスタッフが活躍されて、コンサートの看板や舞台と客席を仕切る大きなビニール幕の作成設置、スポットライトの清掃までしてくださったとお聞きした。スタッフのご尽力に支えられていることを改めて感じた。今日は第6次生涯推進計画の内容をおさえつつ、感染症対策も含めた新たな今後についての検討になるかと思う。ご議論をお願いしたい。

2. 報告事項

○事務局より

・地域福祉ウォッチャー調査について、委員3名に依頼した。

・視聴覚室・映写室配置図について

前回の会議で視聴覚室と映写室の備品収納が乱雑でわかりにくいというご意見をいただいた。職員で映写室内を整理整頓し、使用した備品を片づける場所がわかるように掲示することになった。

配置図の修正箇所（出入口、廊下側、窓側の追記など）の指摘があった。備品の配置は、説明文よりも片づいた状態の写真を貼った方がわかりやすいという意見があった。マイクの種類と対応するアンプの写真と操作方法の説明書を作成してほしいという要望があった。読みやすいよう文字も大きめにする。

・アンケート集計結果（手ぬいでチクチクカンタンかわいい手芸教室、ファミリーコンサート）

実施済の事業の参加者アンケート集計結果は好評だった。

手芸教室は地域の障害者施設と連携して実施している。施設職員と通所者が講師となり参加者と交流しながら手芸品を作る。障害も理解していただく機会となる。来年度は福祉施設と連携して料理講座を企画検討している。感染症が収

束したら実施の方向。

ファミリーコンサートは、午前の部は子ども向け、午後の部は大人向けの 2 部制で実施した。梅田会長に司会進行、栗原委員と結城委員に午前、午後の両方の受付をしてもらった。会場設営については、学習館のシルバー人材センター職員である市民ボランティアによって看板製作や感染症対策用のビニール幕の製作・設置がなされた。出演者も安心して歌を披露でき、来場者も安心して楽しむことができて大変良かった。

当日スタッフの感想として

- ・もっと多くの方々に素晴らしい歌声を聴いてほしかった。少ない人数でもったいない気がした。一緒に歌ったり踊ったりできる年齢の子どもが参加できると良かった。
- ・感染症対策で窓を開けていたのが寒かった。冬季はそういうことも考えていかないといけない。
- ・対象者を分けて 2 部制にしたのでプログラム構成の面で出演者側はやりやすかったのではないかと感じた。今までは子どもから年配の方まで楽しんでいただけるプログラムというのはかなり苦労されていたと思う。
- ・司会進行として導入の盛り上げが足りなかったと感じた。出演者の方々の打ち合わせをもう少し綿密にできればよかったと思う。今までは楽器体験を通じて演者とお客さんがふれあう場面があったが、感染症対策で難しくなっている中で、今回はピアノと声楽なので、一緒に歌ったりすることで一体感のあるイベントをすることができることがわかった。どういう出し物をするのかということが感染症対策になっていると感じた。

資料のアンケートの項目（男性・女性）やタイトルをわかりやすくした方がいいとの指摘があった。次回は修正することになった。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 地域活性化事業

- ・誰でもコンサートちらし(案)を配布した。令和 3 年 2 月 27 日にさかえ会館で開催する。午後の 2 部制（大人向け、子ども向け）で実施する。幸学習館運営協議会と共催。参加人数を制限するため、地域の施設の方を招待することはできないが、どなたでも参加可としている。

ちらし裏面のさかえ会館案内地図について意見があり、目印となるお店など(がんこ、立川通り、芋窪街道、岩崎倉庫、バス停など)を追加して手直しをすることになった。

- ・アンガーマネジメント（初級編）は錦学習館で実施されている事業で講師を紹介してもらい、高松で曜日と時間帯を変えて実施する。ターゲットは絞り込まず、導入編として一般向け。アンガーマネジメントの意味について広報原稿や PR ちらしに説明文を入れた方がわかりやすいという意見があった。

(3) 代表者連絡会議

- ・地域学習館運営協議会代表者連絡会議を令和 3 年 1 月 27 日(水)午後 6 時 30 分

市役所にて開催予定。初めての代表者連絡会議開催になるため、会議資料(案)を配布した。会議の具体的な内容、研修テーマについて協議した。今後内容やあり方について検討しながら開催に向けて進めていくことになった。

神山先生から立川市の生涯学習関係者のネットワークを作ることについて助言をいただいている。行政が仕切るのではなく、市民が主導して行政が支える形で、どういう方向性で進んでいくか、まずは代表者で話し合ってもらおうという流れで実施したらどうかという意見があった。代表者だけの集まりということではなく、各地運協の委員一人一人の意見が出せてつながっていけるような代表者連絡会議にしていくことが望ましい。各学習館で実施する各事業が第6次生涯学習推進計画のどの項目に対応しているか、評価し確認していけるようにしていきたい。

4. その他

- ・各委員より近況報告
 - ・児童館：中学生の定期考査の時期で学習の場を求めている子どもがいる。中学生の利用時間は午後7時まで可能(学習スペース行事期間中は保護者の承諾があれば午後8時まで)
図書館は1時間の利用、学習館の学習スペースでは小学生の利用は午後6時まで、中学生の利用は午後7時までとなっている。
 - ・社会福祉協議会：10月下旬からサロンや地域のグループ活動が再開されて従来の活気が少しずつ戻ってきている。
 - ・広報11/10号掲載の「人生100年時代 豊かな生活の第一歩～コロナ禍の中で考える」講座を11/28に多摩川図書館で開催する。2月に開催する予定だったが、コロナ感染拡大で延期となった。講師は橋本委員(生きがづくりアドバイザー)
- ・次回会議日程について 令和2年12月21日(月)午後7時～8時30分

5. 地域課題共有(地運協運営状況) 時間の関係で省略

以上